

# 事業実績報告書

様式 2  
(2020年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	E - 2 3	講座名	水の歴史資料館で学ぶ 安心・安全な名古屋の水道
記載日	2021/1/14	団体名・企業名	名古屋市上下水道局 調査課 水の歴史資料館
〈講座全体の概要〉(300字程度)			
<p>安心・安全な名古屋の水道はどのようにつくられ、どうやって皆さんのご家庭に送られてくるのか？知っているようで知らない水道の仕組みについて、災害時に直面する水とトイレの問題とあわせて、実験や実技説明などをおりませながら、楽しく学習でき、自助・共助の防災力アップも期待できる講座としました。</p>			
			
※写真1の説明		※写真2の説明	
第1回 水道の仕組みを学ぶ(水源と浄水) 講義 浄水実験説明		第3回 災害時の水とトイレの確保(防災) 下水道直結式仮設トイレの設営説明	
〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)			
<p>参加者が、学習意欲の高い高齢者や社会人などで、運営者側からすると、やりがいのある講座となっている。3回の連続講座とすることで、水道事業全体を俯瞰できる構成となっている。新型コロナウイルス感染症の予防対策として、定員を縮小したり、作業実習を見直したりしたが、講義や説明の仕方などを工夫し、参加者には、従前と変わらないだけの内容の講座を提供できた。</p>			
〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スライドの説明が図とかあり、また、実験を交えた説明でわかりやすかった。講座の手法が適切だった。おもしろかった。楽しく勉強させてもらいました。(第1回)</li> <li>・ 蛇口をひねれば水が出る。当たり前のことだと思っていた。目に見えないところにも色々な人の配慮や意図を感じた。実物が見れたり、金属探知機の実技は、面白かったです。(第2回)</li> <li>・ 非常に大切なことだったので、受講できて良かった。全体的に面白かったし、良い体験ができました。ただ、コロナ禍のため実際にトイレの組み立てなどがやることができないのがやや残念だった。(第3回)</li> </ul>			

●団体紹介

団体所在地	〒 4640043 名古屋市千種区月ヶ丘 1 丁目 1 - 4 4		
連絡担当者	大坪 成生	ウェブサイト	<a href="http://www.water.city.nagoya.jp/shiryokan/">www.water.city.nagoya.jp/shiryokan/</a>
TEL	0 5 2 - 7 2 3 - 3 3 1 1	FAX	0 5 2 - 7 2 3 - 3 3 1 2
E-mail	<a href="mailto:shiryokan@iogesuido.city.nagoya.lg.jp">shiryokan@iogesuido.city.nagoya.lg.jp</a>	携帯電話	
〈団体・企業の簡単な紹介・PR〉(150文字程度)			
名古屋市上下水道局は、名古屋市の上下水道事業を所管しており、水の歴史資料館は、名古屋市の上下水道事業の歴史や役割、そして防災について、わかりやすく学んでいただくことのできる資料館です。			

●講座開催情報

第一回	講座名	水道の仕組みを学ぶ（水源と浄水）	開催日	11月7日	土
	講師名	加藤 義春	参加人数	16	名
	内容	・おいしい水はどのようにつくられるか？・水道の歴史,近代水道とは・沈澱・ろ過の実験をみてみよう。			
第二回	講座名	安全に水を届ける（配水と工事）	開催日	12月5日	土
	講師名	赤塚 直孝	参加人数	13	名
	内容	・漏水との戦いの歴史・耐震管の仕組み・漏水調査や金属探知機の作業			
第三回	講座名	災害時の水とトイレの確保（防災）	開催日	1月9日	土
	講師名	熊倉 健雄	参加人数	13	名
	内容	・地震対策と応急給水・地下式給水栓、マンホールトイレ・災害用トイレの工夫			
第四回	講座名		開催日		
	講師名		参加人数		名
	内容				
第五回	講座名		開催日		
	講師名		参加人数		名
	内容				